

令和2年度事業報告書

令和2年4月1日～令和3年3月31日

特定非営利活動法人 まめなかな

1 事業の成果

以下の事業を実施した。

- 平成27年3月から開所した小規模機能多機能居宅介護事業所は、令和2年12月1日より看護小規模多機能居宅介護事業所に変更し看護を必要とする高齢者にも対応出来る事業所とした。
- 平成29年1月に現在地に移転した、認知症対応型共同生活介護事業所「まめなかな」は 近隣の認知症対応型共同生活介護事業所「なごみ」とともに、円滑な運営を遂行している。
- 新型コロナウイルスの感染防止の為、外へ向けての行事等は一切出来なかった

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業（介護保険対象サービス事業）（

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の実施日時 (B) 当該事業の実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数	事業費の金額 (単位千円)
(介護予防) 認知症対応型共同生活介護事業	介護保険対象サービス事業として「グループホームまめなかな」を運営。認知症介の方に自宅に準じた生活と、残された機能を引き出す介護を行ない、認知症の軽減と進行を遅らすことができた。定員は9人で満室。要介護2～5 平均年齢92才	(A) 平成12年10月1日より通年 (B) 高山市赤保木町969番地 (C) 8人	(D) 要支援2と要介護の認知症高齢者 (E) 9人	34413
(介護予防) 認知症対応型共同生活介護事業	介護保険対象サービス事業として「グループホームなごみ」を開所して8年、利用者の生活歴や習慣やこだわりを受入れ、穏やかに接し、各自の自尊心を損なわないように対応している。だが高年齢化に伴い重度化してきた。定員9名、要介護1から5。平均年齢90歳	(A) 平成25年3月15日より通年 (B) 高山市赤保木町1059-1 (C) 8人	(D) 要支援2から、要介護の認知症高齢者 (E) 9人	43154
(介護予防) 小規模多機能居宅介護	27年3月より、「小規模多機能介護事業所さくらそう」を開設。地域に密着した事業所として、登録者に対して、自宅への訪問、事業所ダイルムへの通い及び短期宿泊を受入れた。顔なじみで利用者の気心がわかった介護職員が対応し、家庭的な雰囲気での介護や家事サービスを行なっている。	(A) 平成27年3月1日より令和2年11月30日まで (B) 高山市赤保木町970-1 (C) 17人	(D) 要支援、要介護の高齢者 (E) 登録29人 通い15人 泊り9人	40758

看護小規模多機能 居宅介護	小規模多機能居宅介護を廃止して、看護を重視した事業所とした。	(A) 令和 2 年 12 月 1 日より (B) 高山市赤保木町 970-1 (C) 17 人	(D) 要介護の介護を必要とする高齢者 (E) 登録 20 名 通い 12 名 泊まり 8 名	21950
------------------	--------------------------------	--	--	-------

(2) 特定非営利活動に係る事業（介護保険対象外サービス事業）

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の実施日時 (B) 当該事業の実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数	事業費の金額（単位：千円）
「老いても生き生きと暮らし続けることができる」町づくり事業 「まめなカフェ」	令和 2 年度は新型コロナ流行の為開催できず。	(A) 平成 27 年 8 月より通年 毎月 1 回土曜日の午後 (B) 高山市赤保木町 1058 (C) 3 名	(D) まめなかな入居者 (E) 約 30 名	0
住宅型有料老人ホーム 「シェアハウスまめなかな」運営	「株式会社ゆったり」が平成 25 年 8 月『シェアハウスまめなかな』を定員 17 名で新築開業し運営を当法人で行い、平成 28 年 12 月には「シェアハウスみやび」を定員 5 名で開所し運営してきたが、両施設とも、平成 30 年 7 月に、住宅型有料老人ホームに変更し運営している。シェアハウスみやびは 2 部屋潰して感染室したため定員 3 名とした。 シェアハウスまめなかなの 2 階はグループホームまめなかなとして使用している。	(A) 平成 25 年 8 月より通年 (B) 高山市赤保木町 969 番 (C) 2 人	(D) 高山市民の高齢者 (E) 11 人	0
託老所事業 健康増進に関する事業	「シェアハウスまめなかな」の 1 階を利用しグループホームの入居者と地域の人と一緒に過ごせるよう広いスペースを団らん、音楽、健康体操、趣味の場として開放している。 令和 2 年度は感染防止の為、各事業所で開設した。	(A) 平成 25 年 3 月より通年 (B) 高山市赤保木町 969-1 (C) 2 人	(D) 入所者様 (E) 0 人	0
「老いても生き生きと暮らし続けることができる」町づくり事業	令和 2 年度は新型コロナ流行の為開催できなかった。	(A) 12 月 6 日 (B) 高山市上切町公民館 まめなかなの前の道路 (C) スタッフ全員	(D) 開催できず	0